

復興座談会の実施状況（5月22日・23日）

1. 開催場所等

日 時：5月21日（土） 10:00～12:30

開催場所：宮城野区役所 6階ホール

参加者数：宮城野区内の町内会長、PTA関係者等 18名

日 時：5月22日（日） 10:00～12:00

開催場所：若林区 六郷中学校 3階視聴覚室

参加者数：若林区内の町内会長、避難所対策会議々長等 19名

日 時：5月22日（日） 14:00～16:00

開催場所：若林区 七郷市民センター 1階市民活動室

参加者数：若林区内の町内会長等 21名

2. 座談会での主なご意見

ビジョン・計画について

- ・ アンケートを行う場合、避難所にいない被災者も対象にするなどフォローをしてほしい。
- ・ 骨子に示されているイメージ案に賛成する。イメージパターンを複数示してほしい。

集団移転について

- ・ 東部道路の東側で、住めるところ、住めないところの線引きを早く決定してほしい。
- ・ 住宅ローンや新たな土地購入資金の問題など、残りたいと思っている人たちは経済的理由によるところが大きい。
- ・ 従前地の買い上げを行政側で行ってもらえなければ集団移転の話は進まない。
- ・ 若い人は住みたくないと言っており、高齢者は地域に残りたいと言っている。

生活再建について

- ・ 居住と雇用についての支援をお願いしたい。
- ・ 家族がバラバラに生活している世帯も多く、失業問題も出てきている。

防災について

- ・ ビジョンにある防潮林の整備や県道の嵩上げはよいと思う。
- ・ 梅雨時期に向けて排水機場、水路の整備を早急をお願いしたい。
- ・ 東部道路で堰きとめられた津波により被害が大きくなった。

農業について

- ・ 農地復旧を進めてほしい。今のままで復旧させても無意味である。
- ・ 大規模な農業経営を目指す圃場整備をお願いしたい。
- ・ 専業農家も法人化して農業で生活できるようにしてほしい。

教育について

- ・ 震災の経験を活きた教材としてしっかり教え、震災を語り継ぎ、現在何をすべきか、周りの人々のことも考えられる子供たちに社会全体として育ててほしい。